

東日本旅客鉄道労働組合  
東京都渋谷区代々木2丁目2番6号  
JR新宿ビル13F 〒151-8512  
Tel. 03-3375-5740 (代)  
発行責任者 古川 建三

# JR東労組

# 本部OB会

# ニュース

No. 210 2015年 1月発行

## 新春クイズ

安倍自民政権は、昨年12月突然衆院選を実施し、自・公の与党が圧倒的に勝利しました。狂暴な政治にしっかり闘っていきましょう。

### 《問題》

戦争の出来る国づくりを目指す安部政権は、衆議院で〇〇〇〇発議に必要な3分の2の議席を獲得しました。

〔応募要領〕

- の中に適当な文字を入れて下さい。
- ★ヒントは、「OB会ニュース」をよく読んで、答えを見つけて下さい。
- ★ハガキに答えと住所・氏名・OB会員番号を書いてご応募ください。

＜宛て先＞ ①151-8512  
東京都渋谷区代々木2-2-6  
JR新宿ビル 13F JR東労組OB会

＜賞品＞ 正解者の中から抽選で33名の皆さんに下記の賞品が当たります。

- 1等 3名 1万円のびゅう商品券
- 2等 5名 5千円のびゅう商品券
- 3等 10名 3千円のびゅう商品券
- 特別賞 15名 1,000円の図書券

＜応募締切＞ 2015年1月25日(消印有効)

＜当選発表＞ 次号 No.211号 (2月号)

この「意見交換会」には本部より奥山副委員長をはじめとする役員と、各地本から責任者と2名のエルダー組員が参加しました。本部OB会からは古川会長以下全3役が出席し、ここ数年のエルダー組員の組織率の低下問題について問題提起を行いました。またオプザーバーとして「バス関東」の契約社員2名も参加し、「退職後も、再雇用された社員は組合員継続できるよ」本部にお願いしました。会議では延べ16名が発言し、本部側から「出された意見を精査して、しっかり取り組みを強化する」まための発言で終了しました。

JR総連は、全国で70名の候補者を推薦し31名を当選させました。その内JR東労組の推薦候補は36名で、18名の当選を勝ち取りました。本部OB会は、このJR東労組推

### 伸び悩みの中で「奮闘」

今回の衆院選は、最強軍団・自民党による宣戦布告なしの奇襲作戦であったとは云え、「この道しかない」と「アベノミクス効果」を居丈高に叫ぶ安倍首相に対して、民主党を始め各野党は、ただ手をこまねいていただけでした。その中で日本共産党だけは、戦後史上最低の投票率に助けられて議席数を伸ばしました。

### 党派別当選者数

政党名	当選者数	増減	小選挙区	比例
自民	290	-3	222	68
民主	73	+11	38	35
維新	41	-1	11	30
公明	35	+4	9	26
共産	21	+13	1	20
次世代	2	-17	2	0
生活	2	-3	2	0
社民	2	±0	1	1
改革	0	±0	—	0
無所属	9	-8	9	0

(追加公認は含まない)

### 更に狂暴化する安倍政権

今回の衆院選で安倍自民政権は、ついに長年の念願であった憲法改正発議に必要な3分の2の議席を確保しました。

推薦候補者を「本部OB会ニュース12月号に掲載することが間に合いませんでした。多くのOB会員は各投票所に足を運びました。

### 政党別比例得票数

政党名	得票数	得票率
自民	17,658,916	33.10
民主	9,775,991	18.33
維新	8,382,699	15.72
公明	7,314,236	13.71
共産	6,062,962	11.37
次世代	1,414,919	2.65
生活	1,028,721	1.93
社民	1,314,441	2.46
改革	16,597	0.03
諸派	364,965	0.69

した。

安倍政権はこれまでも重要法案の国会論議を軽視したり、「集団的自衛権行使容認」を閣議決定だけで済ませてきただけに、今後も膨大な軍事費と公共事業費で軍需産業・大企業を潤わせる一方、社会保障費の切り下げや、円安による物価値上げや高い消費税に、高齢者や中小企業者や国民は苦しめられるでしょう。今や第一次安倍内閣発足当時の「弱々しいお坊ちゃん首相」の姿はなく、第2次世界大戦の戦犯岸信介首相の「戦争好きの孫」の姿しか見えない出せません。

### 次の参院選が重要だ

### エルダー組員意見交換会

### 組織拡大に向け活発な議論

12月12日JR東労組本部大会議室において、「本部役員とエルダー組員(OB会員)との意見交換会」が開催されました。

この「意見交換会」には本部より奥山副委員長をはじめとする役員と、各地本から責任者と2名のエルダー組員が参加しました。本部OB会からは古川会長以下全3役が出席し、ここ数年のエルダー組員の組織率の低下問題について問題提起を行いました。またオプザーバーとして「バス関東」の契約社員2名も参加し、「退職後も、再雇用された社員は組合員継続できるよ」本部にお願いしました。会議では延べ16名が発言し、本部側から「出された意見を精査して、しっかり取り組みを強化する」まための発言で終了しました。

だからこそ次の参議院選挙が重要になります。当然安倍首相は、衆院選での圧倒的な勢力を背景に、参議院でも「憲法改正発議」に必要な3分の2の議席確保を目指してきます。民主党は政権を手放した以降、今も国民から失った信頼を回復できず、今回の衆院選の比例得票数も延ばす事が出来ませんでした。たしろかおる参議院議員は、この安倍政権に人一倍強い危機感を持ち、「絶対に憲法9条を改悪させない」活動を強めています。私達OB会員もこの活動を支援し、各地から闘いをつくりましょう。

# 大宮地本OB会、喜び続く!

## 浦和車掌区分会にOB会誕生

11月29日「京浜東北・根岸線および横浜線の乗務員基地再編成」を巡る渦中にある浦和車掌区分会では、一年前から準備してきた分会OB会の結成総会が、OB会員、来賓20名の参加で開催されました。

この総会には、本田本部OB会事務局長、橋詰地本OB会長もお祝いに駆けつけ、結成総会では、今後の運営について議論した後、新役員を選出して終了しました。

その後、近くに新築された車掌区庁舎を見学した後、懇親会を開き久しぶりの再会を喜び合いながら現役時代の思い出を懐かしみました。

新役員	
会長	平井 健男
副会長	宇津木 稔
事務局 局長	大谷 義男
事務局 次長	大河原 健
幹事	鈴木 登

## わが町の 有名人

大宮地本OB会B会が今回紹介する有名人は、「田中正造」

と共に第2の人生を歩む小林博さんです。

小林さんは昭和18年生まれで現在71歳、仲間内では「昔はインテリ風の二枚目」と評判だったそうです。

11年前に小山車両センターを退職した後は、地域で「PMC」や「9条連」、「OB会」などの活

## 橋詰OB会長が 県退職者協議会の会長に

衆院選の公示日直前の12月2日、「連合埼玉退職者協議会第18回定期総会」が「あけぼの会館」で開催されました。

この総会には、中央からも阿部会長が出席し、議長にはJR東労組大宮地本OB会の大谷事務局長が選出されて進められました。

そしてその総会で、初めて地方退職者組織の会長に、JR東労組OB会の橋詰地本OB会長が就任しました。

JR東労組OB会は、近年各地域で退職者連合との連携を強めてきました。その地道な取り組みが地域の退職者の仲間たちに認められたのです。

橋詰新会長は、「生方前会長の生涯組合員で活動していこう」という意味深い言葉に感動し、会長の重責を担う決意をしたと語っています。



## 田中正造と共に

動に関わって毎日過ごしています。特に終生足尾銅山の鉱毒問題に力を注いだ「田中正造」に関する活動には熱心で、地域で交流の輪を広げながら

「田中正造研修」で訪れる人達にガイドを買って出しています。その時に正造の生き様を伝える時に、「国や自治体の言う言葉を鵜呑みにせず、自分の目で判断しよう」と付け加えていると語って

くれました。

## 東総セOB、上野演芸場で大笑い

東京総合車両センター支部OB会は、12月6日に「エルダー会」と共催でレクレーションを開催しました。

女性5名を含む31名の参加者は、世知辛い今の世の中を「落語」や「漫談」等を見て笑い飛ばしました。

日本の伝統芸能を堪能した後は、懇親会を開いて交流を深めました。女性の参加者から「来年も是非」と云われた幹事は、早速来年に向けて飛び回っていました。

## 各地で盛大にレク開催

### 水戸支部OB会が、 団結バーベキュー大会

水戸支部OB会は、10月26日「団結バーベキュー大会」を駅南子供公園で開催しました。

参加した14名のOB会員は、鈴木地本OB会長の挨拶の後、早速バーベキューを肴に盃を重ね、最近の健康状態や昔話に花を咲かせました。

最後に前野支部OB会長が、会員の拡大を確認しあって「団結ガンパロー」を三唱しました。



活動の原点となっているのは、子供の頃から自宅の近くに田中正造の史跡があつて親しんでいたのと、現役時代に「PMC」で学んだ事だそうです。

「自慢はなに」と聞くと、納屋を改造して作った「書庫」と東北新幹線開業時に作ったJR東労組の「分会組織」と、ソコと教えてくれました。

(足利市在住・小林 博・71歳)

## 高崎

12月2日高崎地本OB会は、衆院選公示日に会員・家族40名で「たしろ議員と共に！国会&参院副議長公邸見学ツアー」を開催しました。



本部OB会の出迎えの中、多くの家族が緊張しながらテレビでしか見たことのない本会議場を見学した後、副議長室のサロンでくつろぎ、天皇陛下の御休所、中央広場など戦前の技術の高さと志に触れ、参議院議員会館に戻りました。

意見交換会では、たしろ議員から「集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回」「川内原発再稼働反対」「米軍普天間基地の辺野古移転問題」などの話があり、まるで参議院での代表質問を聞いているようで迫力がありました。

参加者からは、平和と脱原発に向けてしっかり闘って欲しいなどの意見が出され、たしろ議員も「しっかり闘っていく」と決意を述べ、OB・家族も支えていくことを確認しました。

次に、たしろ議員と副議長公邸を訪ね、輿石副議長から「次代を担う子供平和のために尽力する」決意を聞き、記念写真を撮って終了しました。

## 高崎地本OB会と郡山地区OB会が「たしろ激励行動」

## 郡山地区

郡山支部OB会と郡山車両センター支部OB会は12月3日、「国会見学とたしろかおると語る会」のバスツアーを行ないました。

参加者は、会員・家族・知人・友人の総勢41名。その内女性が8名でした。国会見学は何十年ぶりで、学生時代の修学旅行を思い出した参加者もいました。

意見交換会では、たしろかおる参議院議員から、「解散はアベノミクスが争点」と報道されているが、真の狙いは「集団的自衛権の行使」、「徴兵制の導入」、「憲法改正」等であり、安倍政権の暴走を許さない闘いであること等が話されました。

参加者からは福島原発の風評被害、中間貯蔵施設の問題、日中問題などについて意見が出されました。たしろ議員からは、福島原発の「復興」に取り組んでいくこと、日中問題（尖閣など）は外交努力で頑張る事等が話されました。

車内では、佐藤郡山支部OB会長の、参加者を「眠らせない、飽きさせない」と、添乗員時代の経験を生かしたガイドで楽しい旅となりました。参加者は、推薦候補を当選させて安倍政権の暴走を許さず、「たしろかおる」議員を応援することを誓って散会しました。

